

## 中野区教育大綱について

### 1 中野区教育大綱の位置づけについて

#### (1) 教育大綱の定義

地方自治体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針となるもので、国の教育振興基本計画における基本的な方針を参酌しつつ、地域の実情に応じて定める。

#### (2) 中野区における教育大綱の策定

基本構想、基本構想審議会の答申、総合教育会議での議論を踏まえ区長が策定する。

### 2 中野区教育大綱の論点について

教育大綱に盛り込む内容の論点については、別紙のとおり。

### 3 策定にかかる今後の手順（予定）

総合教育会議で内容協議……平成27年9月から11月

教育大綱素案作成……平成27年12月

素案にかかる意見交換会……平成28年2月

教育大綱案作成……平成28年3月

案にかかるパブリックコメント手続き……平成28年4月

教育大綱策定……平成28年6月

## 教育大綱の論点について

資料

### 前回の総合教育会議で提示した項目

- (1) 一人ひとりが自己の良さを発揮できる学校教育の充実
- (2) 子どもたちの丈夫な体と豊かな心が育まれる、幼児教育・子育て環境の充実
- (3) 地域で適切な支援が行われる子育て支援の充実
- (4) 区民の主体的な学習活動が行われる生涯学習環境の充実
- (5) それぞれの適正に応じて主体的に取り組めるスポーツ・健康づくりの充実
- (6) 学校、子育て施設の改善による、快適な教育・子育て環境づくり
- (7) 教育・子育て施策を支える持続可能な財政基盤の確保

### 教育委員会での議論を反映

#### ①学校教育

学校における、自ら学び、考え、行動する力の育成。保育園・幼稚園・小学校・中学校の連携教育の推進。多様な価値観を受容し、相互に尊重しあう心の教育への注力。知・徳・体の均衡ある教育の実施。社会貢献や規範意識の向上

#### ②地域との連携

学校、家庭、地域の絆の尊重と地域に支えられ、地域に開かれた学校づくりの推進。子どもたちの健やかな育ちを支援する環境づくり

#### ③生涯学習、スポーツ・健康づくり

人々が主体的に参画する、自己実現を図る活動、互いに支え合う活動を行うための基盤整備。東京オリンピック、パラリンピックを契機とした主体的な健康づくり・スポーツ活動の意欲増進

#### ④学習機会の確保

障害者(児)、子育て家庭、低所得世帯、幼児から若者、高齢者まで、すべての人々へのライフステージに応じた学習機会の確保

#### ⑤社会変化への対応・多様な主体や地域資源の活用

情報化・グローバル化の進展など社会変化への柔軟な対応。学校、地域団体、家庭、民間事業者、大学など多様な主体の連携。地域人材、区の歴史文化・伝統文化等の地域資源の活用

#### ⑥教育・子育て施設

安全・安心で快適な、学びの場、子育ての場、遊びの場づくり

#### ⑦施策を支える財政基盤

教育施策の充実のため、将来需要の適切な把握と、施策目標の達成状況や区財政の見通しを踏まえた、計画・実施・評価・改善の行政運営サイクルによる持続可能な行財政の運営

## 1 社会を生き抜く力の養成

### 1 生きる力の確実な育成 (幼稚園~高校)

⇒ 生涯にわたる学習の基礎となる「自ら学び、考え、行動する力」などを確実に育てる。

- ★国際的な学力調査でトップレベルに
- ★いじめ、不登校、高校中退者の状況改善 など
- ◆新学習指導要領を踏まえた言語活動等の充実
- ◆ICTの活用などによる協働型・双方向型学習の推進
- ◆各地域の実情を踏まえた土曜日の活用促進
- ◆高校段階での到達度テスト導入など高校教育の改善・充実
- ◆道徳教育の推進(「心のノート」の充実・配布、道徳の教科化の検討)
- ◆いじめ、暴力行為等の問題への取組の徹底
- ◆教員の資質能力向上(養成・採用・研修の一体的な改革)
- ◆全国学力・学習状況調査(全数調査の継続実施)
- ◆子どもの成長に応じた柔軟な教育システム等の構築に向けた、学制の在り方を含めた検討 など

### 2 課題探求能力の修得 (大学~)

⇒ どんな環境でも「答えのない問題」に最善解を導くことができる力を養う。

- ★学生の学修時間の増加(欧米並みの水準) など
- ◆学生の主体的な学び確立による大学教育の質的転換(アクティブラーニング、教員サポート等)
- ◆大学情報の積極的発信
- ◆点からプロセスによる質保証を重視した高大接続(高校段階での到達度テストの結果の活用を含め、志願者の意欲・能力・適性等の多面的・総合的な評価に基づく入試への転換) など

### 3 自立・協働・創造に向けた力の修得 (生涯全体)

⇒ 社会を生き抜くための力を生涯を通じて身に付けられるようにする。

- ◆現代的・社会的な課題に対応した学習等の推進
- ◆学校内外における様々な体験活動・読書活動の推進
- ◆学習の質の保証と学習成果の評価活用を推進(評価・情報公開の仕組みの構築・普及、教育支援人材の認証制度の推進など) など

### 4 社会的・職業的自立に向けた力の育成

- ★進路への意識向上や雇用状況(就職率、早期離職率等)の改善に向けた取組の増加(インターンシップ等の実施状況の改善、大学等への社会人入学者倍増)など
- ◆体系的・系統的なキャリア教育の充実 ◆大学・専修学校等における分野別到達目標の普及、第三者評価制度の構築
- ◆学生等への就職支援体制強化(就職・採用活動開始時期の変更等) ◆社会人(キャリアアップを目指す社会人、出産等により離職したが再就職を希望する女性など)の学び直しの機会の充実 など

## 2 未来への飛躍を実現する人材の養成

### 5 新たな価値を創造する人材、グローバル人材等の養成

- ★大学の国際的な評価の向上 ◆英語力の目標を達成した中高生や英語教員の割合増加
- ★日本人の海外留学生数・外国人留学生数の増加 など
- ◆高校段階における早期卒業制度の検討 ◆外国語教育の強化や双方向の留学生交流(意欲と能力のある全ての若者に留学機会を実現等)・国際交流の推進、大学等の国際化のための取組の支援
- ◆大学院教育の抜本的改革の支援 など

## 3 学びのセーフティネットの構築

### 6 意欲ある全ての者への学習機会の確保

- ★経済状況によらない進学機会の確保
- ★家庭の経済状況等が学力に与える影響の改善 など
- ◆各学校段階を通じた切れ目のない教育費負担軽減(幼児教育の負担軽減・無償化の検討、義務教育段階の就学援助の実施、低所得世帯等の高校生等への修学支援の充実、低所得世帯等の大学生、専門学校生への支援の充実)
- ◆挫折や困難を抱えた子ども・若者の学び直しの機会を充実 など

### 7 安全・安心な教育研究環境の確保

- ★学校施設の耐震化率の向上(公立学校について平成27年度までのできるだけ早期の耐震化の完了 など)
- ★学校管理下における事件・事故災害で負傷する児童生徒等の減少 など
- ◆学校の耐震化、非構造部材の耐震対策を含む防災機能強化、老朽化対策の推進
- ◆主体的に行動する態度を育成する防災教育等の学校安全に関する教育、地域社会・家庭・関係機関と連携した学校安全の推進 など

## 4 絆づくりと活力あるコミュニティの形成

### 8 互助・共助による活力あるコミュニティの形成

- ★全学校区に学校と地域の連携・協働体制を構築 ◆コミュニティ・スクールを全公立小中学校の1割に拡大 ◆全学校等で評価、情報提供 など
- ◆コミュニティ・スクール、学校支援地域本部等の普及 ◆大学等のセンターオブコミュニティ構想(COC構想)の推進 ◆家庭教育支援体制の強化 など

### 4つの基本的方向性を支える環境整備

- ◆教育委員会の抜本的改革 ◆きめ細かで質の高い教育のための教職員等の指導体制の整備 ◆大学におけるガバナンスの機能強化
- ◆大学の財政基盤の確立と施設整備 ◆私立学校の振興 ◆社会教育推進体制の強化 など

東日本大震災からの  
復旧・復興支援